

学校だより

12月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和四年 十二月一日



愛のある言葉

校長 吉野 達雄

【人権週間（令和四年十二月四日から十日まで）】

人権とは「人が生まれながらに持っている人間としての権利」で、人間が「かけがえのない個人として尊重され、平等にあつかわれ、自らの意思に従って自由に生きる」ために必要不可欠な権利です。児童の皆さん、友達とケンカした時に、相手に対してひどい言葉かけをしたことありませんか。先生方、児童を指導するときの言葉は丁寧ですか。保護者の皆様、学校に意見を伝えるときに一つの側面だけの話になっていませんか。感情的な言葉や自分本位な言葉は、人を傷つけ人権を侵害してしまうことがあります。一度立ち止まり、考えを整理して落ち着いてから話をするのがいいそうです。もちろん相手を思いやつの言葉で伝えましょう。愛のある言葉ですね。私も言動を反省し、このことを心がけたいと思います。

【白金小学校 教職員の日】

あとひと月で今年も終わります。皆様にとって令和四年はどんな一年間だったでしょうか。再来週には年末恒例の「今年の漢字」が発表されます。オリンピックキヤーの昨年は「金」でしたが、今年の世相を表す漢字は何になるのでしょうか。さて、児童のみなさんの頑張りをお伝えする「あゆみ」が二学期末に渡されます。ご家庭でもお子さんの成長を認め、褒めてあげてください。かなり昔のことですが、私が学級担任をしているときに「先生のあゆみ」をクラスの子供たちからもらったことがあります。やはり褒めてもらえるとうれいものでモチベーションがアップしました。2か月ほど前になりましたが、十月五日はユネスコが定めた「世界教師デー（教師の日）」で、教師に感謝する日だったそうです。私は校長として、白金小学校の子供たちが大好きでたくさん褒めています。先生方はもちろんのこと、主事さん、事務さん、白金小学校に関わるすべての教職員の皆様に感謝しています。保護者の皆様、ぜひ、白金小学校では「教師の日」ではなく「教職員の日」として、子供たちの成長に携わっている本校の教職員に愛のある言葉をかけていただければ幸いです。どうぞよろしくお願います。

タブレットを活用した教育活動の充実について

担当 新村 哲

白金小学校では、デジタル教材を活用して個に応じた学習を進める個別学習やリアルタイムで考えを共有しながら学び合う協働学習などを行うことができます。先日の学習発表会では六年生の全グループがプレゼンテーションソフトで作成した資料を、タブレットを操作しながら発表しました。大変立派な発表でした。タブレットを活用していく中で操作が分からない時には、子供たち同士で教え合いながら、新しい機器を文房具として使いこなしている様子が見られます。今後も学習やご家庭との連絡等、さまざまな場面での活用の方法を模索していきます。

また、学校では、タブレット等を安全に使うために、情報モラルについての指導を行っています。とても便利なアイテムですが、使い方によっては大きな危険を伴います。この機会に、ご家庭でもパソコンやタブレット、スマートフォンなどの情報端末の扱い方、ルールなどについてお話いただき、子供たちが安全に活用できるようにしていただければと思います。



白金小学校
Twitter



学校 HP から
入れます。